

一般質問



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

12月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法によりご覧ください

◆インターネット議会中継

市議会の様子（生中継・録画映像）をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。また、各議員の氏名の右にあるQRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。
なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※12月定例会の会議録は2月に発行予定です。



国民健康保険制度の円滑な運営について

小林 淳一（令和研究会）



問 日本では、全ての国民が公的医療保険に加入する仕組みであり、諸外国と比べて公的制度の充実度が高い。しかし、高齢者人口の増加による医療費増大、生産年齢人口の減少による税収の伸び悩みを考えると、国民皆保険の持続が危ぶまれることが予測される。

答 本市の国民健康保険は、県内他市と比較するとどのような状況か。

答 昨年度現在、1人当たりの国民健康保険税は、8万2017円で、埼玉県40市中、最も低い。最も高い市は、1人当たり11万8841円である。

問 本市では令和6年から令和8年にかけて、段階的に国民健康保険税を引き上げる計画であるが、その根拠は何か。

答 国民健康保険財政の安定的な運営には、必要な支出を保険税及び国・

県の交付金などで賄い、国民健康保険特別会計の収支が均衡していることが重要であるが、実質収支は赤字である。県の運営方針に基づき、令和8年度までに法定外繰入金を解消していきたい。

問 一般財源からの補填を解消する計画であるが、その部分の予算は、どのように役立てていきたいと考えているか。

答 今後3年間で法定外繰入金などの赤字を解消し、これまで一般会計に負担をかけていた分を「新しい行田」に向けた施策に使うしていきたい。その使い道については、今後、市全体を見て検討していくが、積極的かつ大胆に取り組んでいきたいと考えている。

【その他の主な質問】
○『翔んで埼玉』琵琶湖より愛をこめて』の映画公開について



国際交流について

福島ともお（令和研究会）



問 三方領知替が縁となり、行田市・桑名市・白河市は平成10年（1998年）に友好都市を締結し、経済や文化、スポーツなど様々な分野で交流が続けられており、今年で25周年を迎えた。都市間外交は、多くの可能性を秘めていると感じる。市長の選挙公約にもある「英語のできる行田っ子」を実現するためにも、英語圏との姉妹都市を結び関係を築き上げることができれば、メリットがあると考えている。姉妹都市（海外）について締結する可能性はあるのか。

答 海外との姉妹都市については、文化、教育、スポーツ等の様々な分野において人的交流が図られることで、市民の皆様への国際理解の醸成をはじめ、国際感覚を持ち合わせた人材の育成につながるなど、有意義なものとして考えている。一方、締結に当たっては、都市間の類似性、歴史、交流を踏まえた都市の選定や適切なつしかりとした交流の在り方、また費用対効果を踏まえた交流経費などの財政負担を考慮する必要もある。そして何よりも多くの市民の皆様にとつて姉妹都市の締結が有益なものであり、長く続いていくことが重要と

なっており、先に、先を見れば、交流の継続によりインバウンドにつながるなど、経済政策の視点を持つ必要がある。本年、本市と白河市、桑名市は、友好都市として25周年を迎え、今でも市民の草根の交流が続く成功例もあることから、実現の可能性を考えていきたい。

【その他の主な質問】
○広域行政の推進
○公用車について
○市民体育祭について